

小学校の部で最優秀賞 藤井嵩大さん（浮金小6年）



作品を発表する
藤井嵩大さん

第63回社会を明るくする運動「第5回田村地区作文コンテスト」の表彰式が昨年11月18日、田村市船引公民館で開催されました。

表彰式には、作文コンテストの入賞者と関係者が出席し、社会を明るくする運動田村地区推進委員会委員長の鈴木三春町長から、受賞者一人一人に賞状と記念品が手渡されました。

小野町からは、小学校の部で、浮金小学校6年の藤井嵩大さんの作品「温かな言葉で明るい社会に」が最優秀賞を受賞しました。表彰式に参加した藤井さんは、「言葉にはすごい力がある。一人一人が言葉の持つ力を考えて、さらに相手の気持ちも考え

て話すことで互いに思いやりを持つことができる。ほかの人が温かい気持ちになれるように言葉かけができる人になっていきたい」と力強い言葉で作品を発表しました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行のない地域社会を築くことを目的に、地域に根ざした国民運動として全国的な運動が展開されています。田村地区（田村市・三春町・小野町）における運動の一環として行われた今回の作文コンテストには、小学校の部に16校、中学生の部に11校が参加しました。

町内の小中学校からの入賞者は次の方々です。（敬称略）

■小学校の部

最優秀賞

藤井 嵩大（浮金小6年）

佳作

島本 恵里（小野新町小6年）

■中学校の部

佳作

大和田 葵（小野中3年）

石井 野絵（浮金中2年）

小野わかば幼稚園

アレサンドロ先生とおべんきょう！



ドールのカードわかるかな？

ひと昔前だと、英語は中学校から学ぶものという意識がありました。今や早くから親しんでいくのが当たり前のようになってきました。

わかば幼稚園でも、月に1・2回外国人英語指導助手のアレサンドロ先生が来園し、一緒に遊んだり、年齢に合った英語を指導していただいています。

初めは異国の先生に驚きそばにさえ近づけなかった子どもでしたが、今では来園を心待ちにし英語であいさつする姿なども見られるようになってきました。英語教室では、単語を教えるだけでなく、歌やゲームなども盛り込まれており、楽しみながら英語に親しむことができます。単語などに関心のない子ども、歌やゲームになると、がぜん張り



エアプレーンになって飛ぼう

切っています。また英語教室だけでなく、今年度は遠足にも先生と一緒にいき、親近感も深まってきました。
幼児期から異国の人に関心、語学に関心を持って、いつか世界で活躍する子どもも出てくるかなと楽しみにしています。